

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ青葉台教室			
○保護者評価実施期間	2026年 7月 1日 ～ 2026年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21世帯	(回答者数)	17世帯
○従業者評価実施期間	2026年 7月 1日 ～ 2026年 7月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 9月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性や発達段階に応じた個性の高い支援	1対1での支援を基本とし、個々のこどもの特性やその時々 の興味・関心を取り入れながらプログラムを設定している。固 定的な内容とせず、こどもの様子に応じて柔軟に内容を変更し ている。	アセスメントや日々の支援記録をさらに活用し、支援前後の 変化や成長をより客観的に確認できる仕組みを整え、個別支 援の質をさらに高めていく。
2	職員間での情報共有とチームで支援を検討する体制	支援内容を職員間で共有し、他職員の意見を取り入れながらプ ログラムを改善している。また、支援後にはこどもの発言や行 動、その日の様子等を共有し、次回以降の支援につなげてい る。	職員による支援の差をより少なくするため、支援方針や有効 だった関わり方を記録・共有し、事例検討等を通じて事業所 全体の支援力の向上を図る。
3	こどもが安心して楽しく通所でき、保護者との信頼関係も構築 されていること	支援後のフィードバックや日常的な相談・情報共有を大切に し、こどもの発達状況や課題について保護者と共通理解を持て るよう努めている。また、こどもが興味を持てる活動を取り入 れ、成功体験につながる支援を意識している。	こどもの成長や支援の意図を保護者へより分かりやすく伝 え、家庭での関わりにもつなげられるよう、フィードバック や情報提供の内容をさらに充実させる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや保護者・きょうだい同士の交流機会が十 分ではないこと	日々のフィードバックや個別相談による保護者支援は行ってい るものの、ペアレント・トレーニングや保護者向け研修会、保 護者・きょうだい同士が交流する機会を事業所として計画的に 設けるところまでは至っていない。	保護者のニーズを確認しながら、保護者向けの勉強会や情報 提供、交流会等を無理のない範囲から企画し、家庭支援の充 実を図る。
2	保育所・幼稚園や地域のこども・地域住民等との交流機会が少 ないこと	開所後は事業所内の支援体制や運営基盤の整備を優先してきた ことに加え、こどもの特性や負担に十分配慮しながら交流機会 を設定する必要があるため、地域との交流を積極的に実施す るまでには至っていない。	こどもの特性や発達段階に配慮しながら、園等の関係機関と の連携を深め、参加しやすい地域行事や交流活動などから段 階的に機会を増やしていく。
3	安全・防災に関する取組が保護者に十分伝わっていないこと	事業所内では各種マニュアルの策定、安全計画、BCP、避難訓 練等を実施している一方、その実施内容や頻度について保護者 へ伝える機会が十分ではなく、「わからない」という回答につ ながっていると考えられる。	避難訓練や安全管理研修等を実施した際に、ブログ・SNS等 を活用して保護者へ定期的に周知し、事業所の安全対策を見 える形で伝えていく。